

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言のなかで感染対策が常識になっているため、客は長居せずにサッサと買物をしていくのでレジの進み具合が早く、来客数も増加している。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・コロナ禍のなか、縮小傾向だった旧盆需要で買上点数と客単価は微増するも来客数は伸び悩んでいる。
	□	スーパー（販売企画）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染第5波は感染者が今までにないくらい多くて、その影響で来客数が減少している。そのため、客単価は上昇していても売上はマイナスの状況にある。
	□	住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・不動産売買件数、賃貸成約件数共に変化はないが、客の物件内覧は減少傾向にある。
	▲	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・4月12日の沖縄県対象のまん延防止等重点措置から始まり、緊急事態宣言が延長につぐ延長で来月12日までとなり、特に深夜帯の売上が激減して厳しい状況が4月以降続いている。2回目のワクチン接種者も周りに増えてきているが、日々の感染者数も増えてきている状況である。事業所兼観光立地の店舗は、かなり厳しい状況である。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて販売数が1割減となっている。新型コロナウイルスの感染拡大により対面販売を避けWebでの購入に移っていることも原因の1つと考えられる。
	▲	住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・建築相談の来客数が減少傾向にある。特に投資案件に関しては顕著である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・周知のとおり、新型コロナウイルスの影響で全体的に落ち込んでおり、来客数も減っている。感染状況が改善されない限りはまだまだ厳しい状況が続くとみている。
	×	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減らない。ワクチン接種も追いついていない。新型コロナウイルス対策に、ロックダウンも考えるべきである。
	×	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・緊急事態宣言下で土日は一部売場の休業もあり、集客もかけられない状態が続き、厳しい経営となっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大のため、客足が遠のいている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・人口比最悪の新型コロナウイルス新規感染者数を日に日に更新しているなか、補助金の遅れも加わり、耐え切れずに通常営業に戻す飲食店がどんどん増えている。開けている店舗は観光客や若者でにぎわっており、自店舗は矛盾を感じながら休業を続けて耐えている現状がある。緊急事態宣言が解除になっても、まん延防止等重点措置等しばらくは規制が続くはずであり、その間は、居酒屋では損益分岐点を上回る売上は不可能である。
×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大が収まらず緊急事態宣言の延長が繰り返され、そのたびに宿泊や飲食の予約が繰り返される。秋の重要客である修学旅行が9月は全てキャンセルになっている。	
×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの5月の販売室数は、前年の緊急事態宣言に伴う1か月間の休館の影響から、前年比約1500室増とプラスなのに対し、8月の販売室数は、東京と沖縄の緊急事態宣言の影響もあり、前年比約600室減とマイナスに転じている。	
×	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・県民は自粛中だが観光客は遊びに来る。経済的には良いことかもしれないが、せめて緊急事態宣言が解除されてからと願いたい。県民が通常の生活に戻ってくれないと出張も旅行も自粛したままでお手上げ状態である。	
企業 動向 関連	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・ホテル等業務関連への売上は厳しいなか、お盆向けや一般食品の販売は引き続き回復している。

(沖縄)	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・民間工事の見積依頼及び受注、出荷共に、前月から横ばいで推移している。
	□	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・3か月前の、悪くなった状況からの変動はない。緊急事態宣言の最中ではあるが、観光業関連の納品先が少しずつ増えてきているように見受けられる。
	▲	会計事務所（所長）	取引先の様子	・本県の主要産業である観光業が長期にわたり低迷しており、周辺業界へも波及しつつある。
	×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の新築の客の動きが全くない。それに、以前仮契約した申込済みの客が、新型コロナウイルスの影響で不安になり、新築が足踏み状態である。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(沖縄)	□	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人案件の減少等がある。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・長引く新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言の影響で、沖縄県内は求人活動などが制限され、求人数が思うほど増加していない。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT系は好調で、デザイン系は低調という状況が以前から変化していない。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・5月と比較して求人数が10%程度減少している。6月から8月は同水準で停滞を続けている。新型コロナウイルス感染拡大第5波の真ただ中において、企業の採用活動は不活状態である。
	×	—	—	—